

ウポポイ、白老をPR

京都でイベント

白老町は11月16、17日、ウポポイと白老町の魅力発信イベントを京都市で行いました。2日間で延べ8,000人が訪れるなど、初めての京都での開催は盛況に終わりました。

京都市のゼスト御地河原町広場で行われたイベントには、大塩英男町長や観光協会、白老アイヌ協会、アイヌ民族文化財団などのメンバー16人が参加。白老アイヌ協会による古式舞踊の披露、アイヌ文様刺しゅう体験、アイヌ民族衣装の試着体験のほか、特産品（白老牛、たらこ）やウポポイのPRを展開しました。



ポロト湖畔にイルミネーション

ウポポイ

ウポポイで11月23日から「ウポポイイルミネーション」が点灯し、幻想的な空間が来場者の目を引いています。前日の22日には町内の保育園・幼稚園の園児50人による点灯式が行われました。

イルミネーションはチキサニ広場に設置されています。3・6m四方の10個のボックスの中に、ヒグマやシマフクロウ、タンチョウなどのアイヌ文化にゆかりのある動物が浮かび上がる仕掛けで、83,000個の電球が使われています。点灯式では園児の代表が点灯ボタンを押しました。

イルミネーションは4年目の取り組みです。今年は1月13日（15時30分～17時）まで点灯されています。

